

**Mマガジン・サポーター** (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

・区役所	中原区役所5Fなかはらっば	中原区小杉町3-245	Tel.044-744-3113
・会館	川崎市国際交流センター	中原区木月祇園町2-2	Tel.044-435-7000
・会館	川崎市生涯学習プラザ	中原区今井南町28-41	Tel.044-733-5560
・会館	かわさき市民活動センター	中原区新丸子東3-1100-12	Tel.044-430-5566
・郵便局	川崎井田郵便局	中原区井田中ノ町25-1	Tel.044-766-9724
・郵便局	川崎プレーメン通郵便局	中原区木月1-31-5	Tel.044-455-1800
・郵便局	川崎木月郵便局	中原区木月住吉町11-12	Tel.044-411-9800
・郵便局	川崎木月大町郵便局	中原区木月大町11-27	Tel.044-722-3617
・放送局	かわさきFM	中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス	Tel.044-712-1791
・推進協議会	「音楽のまち・かわさき」推進協議会	幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階	Tel.044-544-9641

●元住吉西口(プレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

・音楽教室	SouleaveMusic School	中原区木月伊勢町10-1三起ビル302	Tel.044-750-8992
・鉄板焼	ゆうき亭	中原区木月1-28-16	Tel.044-434-6999
・ヘアサロン	キャメルヘアデザイン	中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F	Tel.044-872-7375
・カフェ	水谷珈琲	中原区木月1-32-16 1F	Tel.044-577-4288
・果物	フルッコ	中原区木月1-35-1	Tel.044-433-3338
・パン	リップル	中原区木月3-10-20	Tel.044-863-6554
・コーヒー専門	MUI	中原区木月3-13-2	Tel.044-767-1368
・イタリア料理	オステリアポッカーノ	中原区木月3-17-16 新井ビルB1F	Tel.044-411-1003
・音楽教室	島倉学ミュージックスクール	中原区木月3-35-1ART FLATS B1F	Tel.044-567-5940
・音楽教室	有隣堂日吉センター	中原区木月4-31-7	Tel.044-411-5701
・コロンブス	マンマチャオ元住吉店	中原区井田中ノ町4-1 Mソナンアッシュ	Tel.0120-027-217
・理容室	Hair Salon Airs	中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F	Tel.044-755-0273
・接骨院	井田名倉堂・栗山接骨院	中原区井田中ノ町6-27	Tel.044-766-0850
・ヘアサロン	波照間	中原区井田中ノ町8-1	Tel.044-797-5692
・デザイン制作	アルケファクトリー	中原区井田中ノ町8-43	Tel.090-4362-5413
・カフェ	フォレストコーヒー	中原区井田中ノ町33-1	Tel.044-754-1156
・時計・貴金属	つだとけてん	中原区井田中ノ町33-2	Tel.044-766-6022
・不動産	福街不動産	中原区木月祇園町12-1	Tel.044-750-0409

●元住吉東口(オス商店街通り)

・介護センター	みずたま介護ステーション元住吉	中原区木月2-2-3 Mソノミール元住吉	Tel.044-430-6963
・お茶	金子園	中原区木月2-2-36	Tel.044-411-5877
・鍼灸院	和式整体&整心の「響氣」	中原区木月2-3-35 住吉名店センター401	Tel.044-433-2880
・Cafe+Cake	Baloo(バルー)	中原区木月2-7-8 健庄ビル1F	Tel.044-789-9625
・介護センター	ツクイ	中原区木月2-8-5MKビル1-B	Tel.044-431-0027
・古本・CD	凸つと凹つと	中原区木月2-10-3	
・調剤薬局	網島街道薬局	中原区木月2-16-10	Tel.044-750-0374
・イタリア料理	自在屋	中原区木月4-10-6	Tel.044-433-5644
・STEAK	ステーキグラム元住吉店	中原区木月住吉町7-7	Tel.044-433-4129
・Gステーション	ENEOSダイヤ商事	中原区木月住吉町21-1	Tel.044-411-5863
・ライブハウス	パワーズ2	中原区木月住吉町21-5	Tel.044-455-0007
・音楽教室	Studio An(スタジオ・アン)	中原区荻宿4-48	Tel.045-312-3146(横浜アオハ楽器)

●元住吉近郊

・喫茶室	シンフォニー	川崎市幸区矢上11-1	Tel.044-599-3499
------	--------	-------------	------------------

●武蔵小杉近郊

・紅茶専門店 喫茶室	Tea House ローズマリー	中原区小杉町3-70-4 ホーユウバレス1F	Tel.044-733-1076
・蕎麦店	そば あざひや	中原区小杉町2-42-7	Tel.044-722-1768
・珈琲店	Cafe TEMO(テモ)	中原区上小田中6-1-5	Tel.044-755-8234
・喫茶店	Coffee Spot Life(ライフ)	中原区上小田中6-22-13	Tel.044-722-0024
・喫茶店	ショップカフェハット	中原区新城1-16-12	Tel.044-788-0116

●元住吉外郭・他

・調剤薬局	胸沢通り薬局	東京都目黒区中央町2-40-8	Tel.03-6412-7318
・写真	PHOTO SHOP 銀嶺	東京都港区六本木7-8-4	Tel.03-3408-5406
・レストラン&バー	Public House びあにしも	川崎市小川町16-15ヒロサビル103号	Tel.044-201-1668
・調剤薬局	オレンジ薬局川和町店	横浜市都筑区川和町1218-1F	Tel.045-929-1005
・カフェレストラン	カンファニー・ツリー	横浜市中区海岸通1-1 横浜貿易協会ビル	Tel.045-211-2200
・ジャズ喫茶	マシュマロ	横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F	Tel.090-2202-3294
・八百屋	八百屋ジャズ	東京都世田谷区等々力2丁目16-14	Tel.03-3701-3860

●宮城県仙台

・カフェ	Antique cafe OLD TIME	宮城県多賀城市高崎2-16-3	Tel.022-309-6728
------	-----------------------	-----------------	------------------

▲上記、サポーター記事は無料です。



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music

**Mマガジン**

2022年5月16日号  
2022年4月16日発行  
(毎月16日発行)  
第87号

発行・編集人: 塚田親一  
編集: 藤田順治 / 大場明弘  
発行: 音楽好きな友の会  
川崎市中区木月2-21-32  
TEL 090-9398-2889  
2022-4-16-900 Printing RK

# M MAGAZINE

●Motosumiyoshi ●Music ●Mate ●Meet ●Memories

## 音友レコード倶楽部

PR動画完成配信中!

暫くの間、開催確認は音友会HPをご覧ください。

新連載!  
「ジャズ雑記帳」  
川崎成弘

**Victoria(ヴィクトリア):**  
ヴォーカリスト  
ロシア ウラジオストック出身。6歳から歌い始め、8歳の時に国内のコンクールで優勝。大学生の頃から本格的に歌の勉強を始め、卒業後ロシアVVCラジオ、テレビのCMマーシャルなどで歌の仕事をする。2007年ダンサーの夫と共に仙台に移住。ウエディングやホテルコンサートに出演。「銀杏坂」「クロスピー」等に出演中。透明感のある歌声とダンスを活かした華麗なステージで魅了する。

Photo: Yoshiro Yasuda

元住吉の気軽な音楽会



2022  
5  
May

Victoria

連載32

そして音楽の旅は続く

## 厳しかったのは高橋真梨子さんの「For You」

ジャズボーカリスト  
星乃けい  
official website  
<https://www.hoshinokei.com>

先月号では表舞台を退いた後の仕事でCM、ガイドボーカル、コーラスのお話まででしたが、残りはカラオケのお話です。当時のカラオケにはアーティスト本人ではない生の声の歌も入っていました。分からなくなった時のガイド用ですね。そのうち、それと同じように歌う事で点数が付くようになりました。私は、その生歌を唄う仕事をしていました。普通の女性より声の低い私には厳しいお仕事でした。今のようなデジタル技術がなくアナログの時代なのでKeyを下げるにはテープの回転数を落とすしか方法はなく、あまり回転を落とすと元に戻した時に変な声になってしまいます。私は裏声を使わないので、出ない高音部に汗だくでした。いちばん厳しかったのは高橋真梨子さんの「For You」だったなあ。ちゃんと歌えたのか不安な出来なのに、それに合わせて歌わないと高得点が取れないなんて、今となっては申し訳ない気持ちで一杯です。すみませーん。じつは今、私の契約している事務所はカラオケ制作もしています。ときどきその制作音源を耳にしますが、もう今のカラオケ音楽は私の手の届かない世界で驚くことばかりです。本当は若い多感な時期にいろんな音楽を聴いて唄って

欲しいのに、同じようなテンポとリズム、無理やり押し込んだ日本語、違和感のあるメロディ。たしかにそれも音楽です…でも余白を味わうとか、余計なものもそぎ落とした言葉、自然に浸み込むメロディラインとか、他にもたくさん音楽があるのになあ。もし若い方でカラオケ好きな方がいらしゃいましたら次回はぜひアニソンやゲーム音楽で発散したあと、いつもと違うジャンル、雰囲気の曲を唄ってみてね!

そして作詞家業。残念ながらヒット曲を産み出すことはできず、お小遣い稼ぎ程度の収入でした。作詞家業は所属している作家事務所から依頼がきます。私は曲が書けないので、作曲家さんからの曲に詞を付けます。新人さんや、まだ売れていない人のア

ルバムなどへ提供していました。作詞家業では、ふざけているんなペンネームを使っていた。というのも、音楽の印税収入って、配信だと多少は儲かりますが、CDだと1曲当たり1円にも満たない何十銭の世界です。私の書いた詞の曲が入ったCDが10万枚売れても10万円になりません。今の時代、10万枚売れることは滅多にありません。私にとって作詞をするのは収入を得るためではなくて、子供のころからのライフワークなんです。だから、うんうん言いながら頭をかきむしって詞を書きあげたら、それで満足!で、ホッとしてふざけたペンネームを思いついたらという訳です。意外と皆さんも聴いたことがあるかもしれませんよ。私、某ラグビーチームの応援歌も書いたから〜(^^)



▲Dear/高橋真梨子 VICTOR VIH-28077



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「IN NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される



**音友レコード倶楽部PR動画!**  
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

**島倉学ミュージックスクール**

驚くほど歌い方が上達する  
「島倉学メソッド」

歌が人生を変える  
音楽は決して貴方を裏切らない

**島倉学ミュージックスクール**

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング

**30分無料体験レッスン実施中!**

【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分  
島倉音楽スタジオ  
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)

【お問い合わせ】  
島倉音楽事務所 営業日: 火曜~土曜 12:00~21:00  
代表 島倉学 定休日: 日曜・月曜

TEL 044-567-5940 Mail: info@ma-musicchool.com  
HP: <http://www.ma-musicchool.com/>

### 川崎市国際交流センター

#### 地球市民講座「中村哲追悼 加藤登紀子 講演会&ミニコンサート」

●日時: 2022年5月26日(木)  
15:30開場 / 16:00開演  
●場所: 川崎市幸文化センター 大ホール  
●入場料: 4,000円  
●申込方法: 「復便はがき」、申込フォーム  
(<https://www.kian.or.jp/gc2>)、電話・来館可  
詳細は、<https://www.kian.or.jp/evenco22/event/gc-2022.shtml>



●お問い合わせ  
川崎市国際交流協会  
TEL 044-435-7000  
FAX 044-435-7010  
E-mail: [kiankawasak@kian.or.jp](mailto:kiankawasak@kian.or.jp)  
ホームページ <https://www.kian.or.jp>  
川崎市中区木月祇園町2-2  
元住吉駅から徒歩10分

加藤登紀子さんが、2019年にアフガニスタンで命を落とした中村哲さんとの交流の軌跡やご自身の地球環境問題への取り組みについて語ります。そして名曲をお届けします。

### 川崎市生涯学習プラザ

#### 第112回 ランチタイム・ロビーコンサート

●日時: 2022年5月12日(木)  
12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定  
●場所: 川崎市生涯学習プラザ ●料金: 無料  
●出演: 櫻岡史子 / パンフルート  
佃 恵子 / ピアノ伴奏

【来場の注意点】マスク着用、連絡先記入、検温、入場制限がございます。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。



櫻岡史子プロフィール: 8歳からパンフルートを始める。本場ルーマニアにてパンフルート奏法・教授法を学ぶ。ルーマニア大使館公認日本ルーマニアパンフルート協会を設立。よみうりカルチャー・荻窪・恵比寿講師。トート音楽院渋谷講師。東京音楽大学付属民族音楽研究所講師。成蹊大学パンフルートグループ講師。Radu Nechifor (ラドゥ・ネキフォル)氏に師事。

### 音楽好きな友の会(音友会)

#### 音友レコードコンサートの再開のお知らせ

一昨年の11月よりコロナ感染対策で、中止していたレコードコンサートの「音友レコード倶楽部」をtvkの「猫のひたいほどワイド」の取材を機に毎月1回「軽音楽とジャズの集い」として再開を予定しました。また開催状況のお知らせは「音友会HP」で告知しますので必ずその都度「音友会HPのお知らせ」で確認のうえご参加をお願いします。

●開催日時: 5月15日(日)  
開場: 13時15分 / 開演: 13時30分 / 閉会: 16時30分  
●開催会場 (160名収容会場を使用)  
国際交流センター・レセプションルーム  
※ソフトドリンク等の持ち込み可  
●参加費: 1,500円 ※高校生以下¥500  
※6月は12日(日)を予定しています。



### 5月15日(日)の軽音楽とジャズを聴くプログラム

Light Music(軽音楽ファンの集い) ●担当: 大場明弘  
ポップシンガーのスタンダード・ナンバー特集



▲What's New / Linda Ronstadt & The Nelson Riddle Orchestra

Jazz Date(ジャズファンの集い) ●担当: 藤田順治  
ベーシスト ビル・クロウ特集



▲From Birdland To Broadway / Bill Crow

以前特集したバリトン・サクスの名手ジェリーマリガンと元で長い間一緒に活動していたビル・クロウ。彼の演奏をジェリーマリガン時代の曲と彼のコンボ時代の曲とを聴き比べながらオーソドックスなジャズ演奏を堪能していただければと思っています。

【来場の注意点】コロナ感染拡大防止の為、参加の際にはマスク、筆記用具の持参と入場時の手のアルコール消毒と健康カードの記入をお願いします。なおコンサート会場は換気のため窓・ドアなど一部開放しながら開催しておりますのでご了承ください。

連載06 杜の都仙台からの音楽だより

周りの全ての人に幸せになってもらいたい

五月は風薫る季節といわれますが、薫風(くんぷう)によって生まれる、かすかな涼しさ。風はどんなところにも入って、いい香りをもたったり、涼しさを運んだり、一瞬にして人の気持ちを癒す力も持っています。そう、風は「自由自在」音楽にも同じような作用があるように思います。常に薫風のごとく涼やかな音楽を奏でていきたいのです。今月号はVictoriaさん。2007年にダンサーである夫と共に仙台へ移り住み、歌手としてダンサーとして活動を続けています。笑顔を絶やさない明るい彼女。仙台には美しいところがいっぱいあって、よく家族で出掛けるそうです。ダンスは競技にも参加して、勝つことの喜びがたまらないそうです。歌うことは感情を表現しお客様と共感出来た時に喜びを感じると言います。違う国に来ての苦労は多いと思いますが、一番難しかったのは「ナットウ」を食べたこと...だそうです。お寿司は直ぐに食べられたけど、納豆は10年かかりました〜と笑顔で話してくれました。さて、「One Night LIVE! DIVAS OF SENDAI」では、トップバクターとして華やかなステージでお客様を魅了してくれました。一

曲目はダンサーとしてのステップを活かしたステージングで登場の「Sway (スウェイ) オープニングからの早着替えて真っ白なドレスから真っ赤なドレスへ情熱的なステージへチェンジ! スペイン語の題名「Quien sera(キエン・セラ)」を直訳すれば「誰だろう」となるラテンのナンバーを英語の歌詞で艶やかに歌い、自由な解釈、聴衆とのコミュニケーション、そうした要素が一体となりライブ独特の最高に素晴らしい雰囲気を作り出していきました。バックは「崎村達也Anything Goes」の演奏。2曲目は「Have You Never Been Mellow」オリビア・ニュートンジョン(Olivia Newton-John)の1975年のヒット曲「そよ風の誘惑」人間、走って生きていくと、周りの景色や物事も走り去って行き、良くみえないもの。人と人との関係でも、助けを必要とする人と同じ時間軸の中にあることが大切。ゆっくりと休むことも大切な生き方」という歌詞を持つこの曲。澄んだ歌声と歌詞の「癒し」や「ゆったりした生き方への誘い」をダンサー二人と共に表現しました。クリスマスソング「I Saw Mommy Kissing Santa Claus」と続き、ラ

ストロングは「Superstar」デラニー&ボニーが1969年に発表し1971年カーペンターズによるカヴァー・ヴァージョンが世界的にヒットして今でも多くのアーティストに歌い継がれている名曲です。歌を感じ、その中に魂を入れて歌い、それを人々が感じてくれることを願いながら歌っているという彼女。音楽に取組む姿勢も真摯で、意欲的なもの、スケールの大きな歌声で構成の妙にうかがうことが出来ます。後半に向かって徐々に盛り上がっていくところがドラマティックに歌っていて、まさに会場中が息をのむような魅力に惹き付けられた瞬間でした。一方、片言の日本語でのMCも可愛らしくオチャメな一面も観客に愛される理由がもれません。周りの全ての人に幸せになってもらいたい。それが私の「夢」だと語る凛とした美しい姿勢に、彼女の人生、愛したもので生きていくことが大切。ゆっくりと休むことも大切な生き方」という歌詞を持つこの曲。澄んだ歌声と歌詞の「癒し」や「ゆったりした生き方への誘い」をダンサー二人と共に表現しました。クリスマスソング「I Saw Mommy Kissing Santa Claus」と続き、ラ



▲Victoria ※コンサート動画はモットンクラブのrecommend「宗久真紀」より録信中。

連載01 ジャズ雑記帳

焦土・終戦～進駐軍ラジオ放送 (アメリカン・ポピュラー・ソングス)

私は1936(S.11)年1月生まれで、太平洋戦争勃発の1941(S.16)年12月に東京・大田区より現地元住吉(川崎市中区)に移住。1944年6月よりB29爆撃機による日本本土空襲爆撃が始まると、都市部の国民小学校3年生から6年生までの学童集団疎開が決まり、川崎市の小学校も同年8月から大山(現・伊勢原市)に疎開させられ、食料不足で栄養失調、その上シラミの猛攻撃に悩まされるなど過酷な生活を体験してきました。終戦で疎開から戻ると、外地からの引揚業者、我々一般の児童も頭髪に粉状の薬剤を浴びせられた。これは終戦直後の日本の酷い衛生状況をアメリカ軍が持ち込んだDDTによるシラミなどの防疫対策として初めて用いられた粉末状殺虫剤で、後に中学の理科の教師からDDTとは「デイクロロ・ディフェニール・トリクロロエタン」の略称と教わった。戦後のシラミの大発生期には隠語風に「ホワイト・チイチイ」と云われていたのを憶えています。

さて、「ジャズとの出会い」から書き出さなければいけないと気を取り直し、知識もい加減な自分で記録した「ジャズ雑記帳」と、保存していた若干の関係資料を基に筆を進めてみます。ジャズを知った切掛けは進駐軍のラジオ放送で、家にあった「並4ラジオ」1930年頃の3極真空管4本を使った受信機(イラスト)で聴いていました。進駐軍放送WVTRは東京・内幸町のNHK第二放送の設備を使用し、終戦後わずかヶ月半後の1945年9月23日に放送を開始。52年7月まで続いて、その後FEN(Far East Network)と改称し、長く馴染まれたと記録されています。当時まだ英語に對して理解力がなかったので初めのうちは何となく音楽番組だけは聴いていましたが、進駐軍放送からジャズを含むアメリカン・ポピュラー・ソングであることを知り、中学1年生の私はジャズ番組の魅力に取りつかれました。後にその音源はロスアンゼルスに本

部があったアームド・フォーセス・ラジオ・サービス(略称:AFRS)から空輸された16インチ(40センチ)33回転のビニール盤で、ラジオ・トランスクリプション・レコード(写真)と呼ばれた特殊なものであると知りました。再生は片面15分でNHKが放送で使用していた10インチ(25センチ)78回転レコード(片面約3分)より長いので「一人で担当するディスク・ジョッキーは非常に楽である」という記録がありました。アメリカのラジオ放送は商業放送だったので、このレコードにもCMやDJが入り、そのCMをカット・編集して米軍放送局用としてわざわざ専用のレコードをプレスしたのですから、戦後間もない日本とは物量技術の差は桁違いだったのです。

ちょっと道草をしますが、私が参加していたジャズ・ファン・クラブに先輩格のジャズ&オーディオのマニアがいて、いまから30年以上前にそのマニア宅に仲間数名でお邪魔したら、上記の16インチ・トランスクリプション・レコードを多数コレクションされていて、次々と再生し聴かせていただき、私は昔ラジオで聴いていた頃を思い浮かべながら楽しんでいました。普通のレコードは外側から内側への溝ですが、トランスクリプション・レコードは内側から外側へのインサイド・スタートの溝なので、再生装置も16インチ盤が載るターンテーブルにロング・アームという放送局並の装置が必要ということになります(自作する人もいます)。トランスクリプション・レコードは非売品なので、FEN放送局は使用後不要になったレコードを放出したそうですが、それを入手する方法はよく分かりません。老舗の中古レコード店で見かけたことはありましたが、果たして先輩はどこで手に入れたのだろうか?

再び、進駐軍放送のジャズ番組に戻りますが、夜の番組の「ワンナイト・スタンド」(月～土曜日10時～11時)は※記録では「FEN東京」とされていますが、一般的には「FEN」で知られていますので東京は外します。

川崎成弘

ビッグ・バンドのライブを放送。40年代はビッグ・バンド全盛期で、カウント・ベイシー・オーケストラは、ワンナイトの巡演ばかりではないが、44年には一年間でたった19日のオフというハードスケジュールだったそうです。ダンサブルなバンドの演奏曲は「ミーン・トゥ・ミー」「ローラ」などスタンダード・ナンバーが主でした。リアルタイムで録音された演奏を、私は布団の枕元に「並4ラジオ」を置き、勉強している振りをしてノートに演奏者名、曲名をメモしていました。後年それを読みかえてみましたが綴りが間違いだらけのメモでした(笑)。ちなみに進駐軍放送が放送された時に流れた曲は「煙が目しみる」で「アメリカ軍第233隊吹奏隊」による演奏だったそうです。

※インサイド・スタートの溝:レコードの生産工程で、原盤(マスター・レコード)作成前のカッティング作業で溝を刻んだ屑を除去しやすく、作業効率が良いのだそうです。音質も問題ないでしょう。



▲イラストは筆者手描きの「並4ラジオ」



▲AFRSラジオ・トランスクリプション・レコードのセンター・レーベル

【横笛のある暮らしはお休みし、8月号から再開します】

特別寄稿 Music Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談義

音友レコード倶楽部の開催



▲テレビ神奈川tvk「猫のひたいほどワイド」「猫の手も借り隊」で木曜日レギュラー担当の大城光さん。レコード持参で初めてのプレーヤー操作に奮闘中。

天気も良く、気温も約20度まで上昇し気分爽快な中、約1年半ぶりに音友レコード倶楽部を開催した。まだコロナ感染状況は落ち着いていないが、徐々に減少傾向になりこのままの状態が続けば定期的に開けるのかなあという状況である。当日は常連の多くの方々の参加もあり、またtvk(テレビ神奈川)「猫のひたいほどワイド」の取材、正式再開の機材点検、会場設置などの確認を兼ねて開催された。

筆者のDJタイムからスタート。Mマガジン2月号特別寄稿で取り上げた石塚先生のコミック「ブルー・ジャイアント」関連の特別版「ライブ・セレクション・コンビネーション・アルバム」より4曲をピックアップ。スタン・ゲッツの「エアジン」、「セロニアス・モンク・ウィズ・ジョン・コルトレーン」(写真①)より「ブルー・モンク」。この2曲は録音自体が1950年代～60年代なのだがアルバムとして発表されたのは最近でそれぞれお蔵入りしていたとの事。ゲッツはボサノヴァのヒットを連発する以前のレ



▲①Theolonious Monk Quartet with John Coltrane at Carnegie Hall / Theolonious Monk&John Coltrane

ギュラークインテット、もう1枚はコルトレーンがモンクの元に在団中のもので2枚共、図太いテナーでバリバリに吹きまくっている感じだった。残りの2曲はディジー・ガレスピーの「マンテガ」、ホレス・シルバーの「フィルシー・マクナステイ」。二人共情熱的な演奏が得意でガレスピーはオーケストラによる有名なラテンタッチのオリジナル曲、シルバーはこれぞブルーノートと言わんばかりのリズミックでファンキータッチな曲である。全体的にライブ演奏のため1曲1曲が熟演で長めの演奏であったことは至極な。



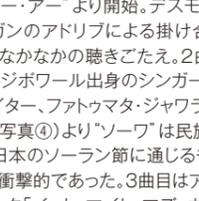
▲②Squeezing Art & Tender Flutes / Art Van Damme

次の大場さんはイーजीリスニング系ジャズが多く1曲1曲が筆と対照的に短め。「DJのレコード棚からひと掘り」というテーマで手元にあったLP、CDをかき集め持参したとの事であった。ナット・キング・コールの「ジャスト・ユー・ジャスト・ミー」、アート・ヴァン・ダム「スクージング・アート・アンド・テンダー・フルーツ」(写真②)より「ピック・ユアセルフ・アップ」、スーパーサクソフの「イフ・アイ・シュッド・ルーズ・ユー」、レス・ブラウン楽団の「ジズ・クッド・ビー・ザ・スタート・オブ・サムシング・ビッグ」、ザ・スリー・サンズの「ゼア・ゴーズ・マイハート」、プラス・ジョンソンの「メモリーズ・オブ・ユー」の6曲。特に私が感じたのは2曲目のアート・ヴァンダム、5曲目のザ・スリー・サンズ共にアコーディオンという珍しい楽器でジャズ演奏をして、特に2曲目はフルートがプラスされる事によって柔らかな感じに仕上がっていた。



▲③Two Of A Mind / Paul Desmond&Gerry Mulligan

今回の「持寄りタイム」ではポール・デズモンド・アンド・ジェリー・マリガン「トゥ・オブ・マインド」(写真③)よりジャズのスタンダード曲「オール・ザ・サ・シングス・ユー・アー」より開始。デズモンドとマリガンのアドリブによる掛け合いが有り、なかなかの聴きごたえ。2曲目はコートジボワール出身のシンガー・ソングライター、ファトゥマタ・ジャワラ「ファトゥ」(写真④)より「ソーワ」は民族音楽調で日本のソーラン節に通じるものがあり、衝撃的であった。3曲目はアイク・ケベック「イット・マイト・アズ・ウェル・



▲④Prelude & Sonata / McCoy Tyner



▲⑤Fatou / Fatoumata Diawara

藤田順治



▲⑥F-1 GRAND PRIX / T-SQUARE

ピー・スプリングより表題曲「イット・マイト・アズ・ウェル・ピー・スプリング」はブルー・ノートレーベルとしては珍しくゆったりとしたテナーサクソフでバックのフレディ・ローチの穏やかなオルガンの響きも好演。4曲目は日本のフュージョングループ、T-スクエアのアルバム「F1グランプリ」(写真⑥)よりFJT V番組「F1グランプリ」テーマの大ヒット曲「トルース」は伊東たけしのリリコン(管楽器を模した電子楽器の一種)の演奏は歯切れのよい演奏が特徴。最後はマッコイ・タイナー「プレリュード・アンド・ソナタ」(写真⑦)のアルバムから、ウクライナで撮影された花であるひまわりに因み、ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤニ主演の合作映画「ひまわり」の主題歌「ロス・オブ・ラブ(ひまわり)」。音楽はヘンリー・マンシーの曲でこれもゆったりとした艶のあるテナーサクソフが特徴であった。

最後にtvk(テレビ神奈川)取材で訪れた大城光レポーターがわざわざレコードをかけてみたいと持ち込んだ山口百恵のアルバム「不死鳥伝説」より「さよならの向こう側」の曲を再生。この曲は百恵さんのファイナル・コンサートで最後に歌われ、涙を流しながらの歌唱となったという事である。大城光レポーターは初めてレコードをレコード・プレーヤーにかけるという事もあって筆者が簡単に説明しながら操作してもらい、この曲を皆でしみじみと鑑賞した次第である。これをもって本日の音友レコード倶楽部は閉会となった。



▲⑦Prelude & Sonata / McCoy Tyner



▲山口百恵のアルバム「不死鳥伝説」

連載68 「くじら座」日記

車輪の唄

BUMP OF CHICKENの「車輪の唄」に衝撃を受けたのは16歳の頃。曲中に登場する僕と君の別れのシーンを描いたポップスだが、私はこれを単なる恋愛や友情の別れとは受け止めていない。同バンドの作詞作曲、そしてボーカルギターを務める藤原基央氏は、決して男女の1ページを切り取るようなソングライターではなく、人の生き方、いわば「生と死」が根底にあるような、哲学的な歌をつくることが多い。ゆえに、この曲に登場する列車とは、私にはどうしても実在しない列車、つまり「この世」と「あの世」を繋ぐ乗り物に感じられる。「何万歩より距離のある一歩」そう感じられる一歩を踏み出したことがあるだろうか?自分の生きてきた道を振り返る。中学時代、親の反対を振り切って部活に入ったこと、それが世界に何ら影響

をもたらすことのない小さな規模の話であっても、一人の人間にとっては地球を跨ぐように大きな一歩がある。そして、何年もかけて先生が黒板に書いてくれた内容よりも、その一瞬がいつまでも自分の味方をしてくれるものだ。困ったことがあったとき、人はつい人に教えるを乞おうとしてしまいがちだが、教えてもらったことというのは、いざという時に自分の味方になってはくれない。教えてもらったことの中から、自分が掴んだものだけが、唯一にして頑丈な自分の武器になる。芸術をつくるには芸術を知ることがあり、心に残る曲をつくるにはいつまでも感動できる心を持っていることが必要だ。テレビをつければ暗い

牧野ケント

ニュースが目線を奪う昨今であっても、扉を開けば新たな季節の風が吹き、青々しい緑が芽吹いている。まるで電車に乗っているようだ。見知らぬ駅で降りる人、乗ってくる人、そんな出会いと別れを乗り越えて、私たちは自分の目指すべきところへと進んでゆく。錆びついた車輪、悲鳴をあげ、残された僕を運んでゆく、微かな温もり。



連載49 Course: Addicted to Guitar

カントリーギター ダブルストップ・バックギン編 part2 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。今回はカントリーギターネタの続きです。前回の譜面で「ダブルストップ バッキング」でロックンロール風の伴奏を紹介しましたが、今回はさらに手数を増やしておきましょう。弾き方は前回と同じく「ピックでの単音弾き」ルート音(5弦)&「中指、薬指」ダブルストップ(3弦、4弦)の振り分けになります。では早速譜面です。今回の譜面は結構手数が多いため、ピック弾きと指弾きの音の違いを出すのが非

常に重要になってきます。指弾きの音にアクセントを付けるために5弦(ピックで弾く弦)にフリッジミュートをかけてもかっこいいですね。コツとしてはダブルストップの音(中指、薬指)は弾くときに弦に右手指を引っ掛ける感じにするといい感じに「バキッ」としたサウンドになって、強烈なアクセントが出せます。ベースの奏法にある「スラップ法」に近



連載-Take 11 音友会は学園祭と趣味の会の合体?!

塚田 親一

今までは「音友会発足から会場探しが大変だった」までを書いて来た。では企画、制作、運営スタッフは?音友会は学生時代の学園祭と変わりなく、ただ大きくなっただけの趣味の会。ただし中途半端では終わらない。スタッフが人生経験を積んできたプロフェッショナルな人達だ。音友会の発足後知り合い、共感したまにはプロからボランティアの世界で息抜きを」のスタッフ

だ。各人ネット検索すると大変。無理押しをしても必ず形してくれる素晴らしいスタッフが音友会とMマガジンが継続している。また面白いことにハングリー精神から「今度これやりたい、次はこれ」の思いつきの企画がとんとん出来上がってしまう楽しさが有る。私は、かつての勤務先でもそうであったが企画開発に一人のB型人間のとっぴょうしの無い言い出しに締め役のA

型スタッフとを組み合わせると素晴らしい物が出来ると、そんな経験してきたが、A型からは、「自分の欲しいものしか作ってない」と良く言われてた。やはり白黒テレビ時代の「何も無い」世界から「有の世界」へのこだわりはすごいのが音友会? カラーテレビ時代の後任に繋げなくては...いや、デジタル時代へ、だった。

ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00 / PM22:00start

MOTTON CLUB 地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押ししていくことが目的です。元住吉から世界に向けて配信して行きます。アーティストメンバー募集中!! 現在、登録アーティストメンバーが演奏動画を配信しています。演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフメンバーを募集中です)